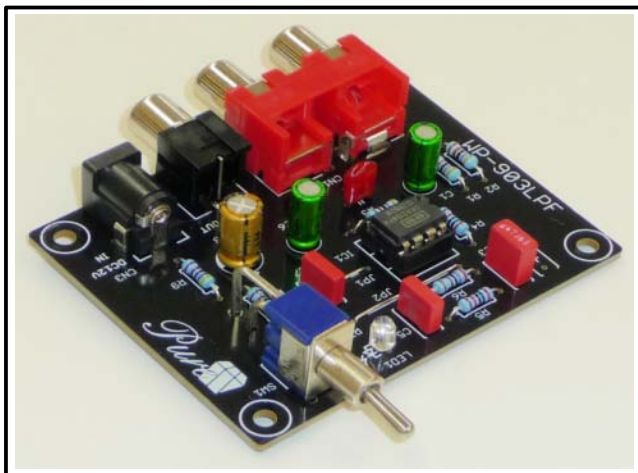


サブウーファー用  
ローパスフィルター 基板完成品  
**WP-903LPF**



- ・「R」「L」チャンネルの信号をミキシングして100Hz以下の音だけを取り出すローパスフィルター
- ・サブウーファーを使用した3Dシステムが構築可能
- ・すべてのパーツをワンボードに搭載
- ・ACアダプター(DC12V)を接続するだけで動作OK

**KYORITSU**  
共立電子産業株式会社



●主な仕様

- ・遮断周波数 100Hz(-3db)
- ・減衰傾度 -12db/oct
- ・電源電圧 DC12V(センタープラス)
- ・消費電流 約10mA
- ・基板寸法 幅70mm 奥行き55mm  
高さ15mm

お断り

- ・当社は、本製品がお客様の特定の目的にかなうことや、他の機器に対して侵害なきことを一切保障することはできません。またいかなる状況下、法律上、契約上のもとにおいて間接的、付随的、あるいは結果的に生じたいかなる種類の損害に対しても一切の責任を負うことはできませんのでご了承ください。
- ・本製品およびそれらを構成するパーツ類は改良、性能向上のため予告なく仕様、外観等を変更する場合がありますを予めご了承ください。

販売元:共立電子産業株式会社

共立プロダクツ事業所

〒556-0004 大阪市浪速区日本橋西2-5-1  
TEL(06)6644-4447 FAX(06)6644-4448

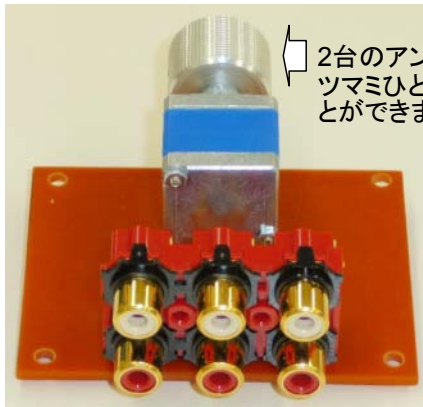
●回路図

非公開

内容は製品版にのみ記載されています

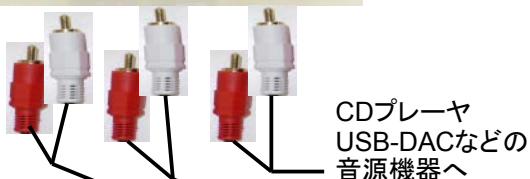
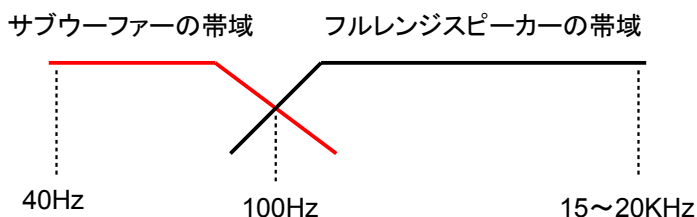
## ●他の機器との接続

マスターコントローラー WP-905MC(近日発売)



2台のアンプの音量をこのツマミひとつで調整することができます

- ・ローパスフィルターはサブウーファーの動作帯域である100Hz以下の信号だけをアンプへ送り出します
- ・入力は(R)チャンネルと(L)チャンネルの2系統ありますが、出力は(R)(L)がミキシングされて1系統になります

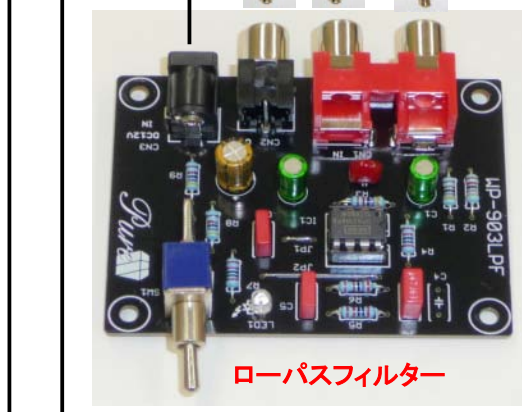


RCAピンケーブル

フルレンジ用アンプ



小型フルレンジスピーカー



サブウーファー用アンプ



サブウーファー

ステレオアンプの場合は片チャンネルだけを使用します。



ACアダプター(別売)  
DC12V 500mA以上を  
推奨します  
(センタープラス)

・ヒトは200Hz以下の低音はその方向が感知できないといわれていますので、サブウーファーは1台だけでもOKです。  
・上記の理由からサブウーファーは設置場所を選びません。机の下など見えないところに設置すれば、小型フルレンジスピーカーから豊かな低音が出ているかのように錯覚します。

・マスターコントローラーのボリュームを中央くらいの位置にしておき、フルレンジ用アンプのボリュームを調整して普段聴いている音量に設定します。  
その後、サブウーファー用アンプのボリュームで低音の調整をします。このときあまりボリュームを上げすぎないように、ベースやパイプオルガンなど低音楽器が自然に聞こえるように調整するのがポイントです。  
普段の音量調整はマスターコントローラーのボリュームで行います。

・ローパスフィルターとサブウーファーをもう1台ずつ追加して、左右のサブウーファーの上にフルレンジスピーカーを設置し、一般的なステレオ配置にすれば「2WAYマルチチャンネルシステム」として発展させることができます。

\*「マスターコントローラー」を省略する場合は「RCA分配器」を2個使用して、音源機器の出力を2分配し、フルレンジ用アンプとローパスフィルターに接続します。音量調整は2台のアンプそれぞれで行う必要があります。